

備風

BI

FU

2022・9月

岡山県環境整備事業協同組合



VOL.58

掲示板（事業活動）

第65回通常総会

令和4年5月25日 ANN クラウンプラザホテル岡山

令和4年5月25日 ANN クラウンプラザホテル岡山において行われました。組合員総数69名のところ出席者は、67名（本人出席49名、書面議決出席11名、委任状出席7名）でありました。渋谷事務局長が開会を宣言し、満場一致をもって岡井智之氏が議長に選任され、議事録署名人には、八田達憲氏及び白神和政氏が指名されました。

議事につきましては、第1号議案の令和3年度事業報告承認の件、第2号議案の令和3年度収支決算を説明した後、監事から監査結果の報告がありました。続いて、第3号議案の令和4年度事業計画（案）決定の件、第4号議案の令和4年度収支予算（案）決定の件について、審議がなされ、第1号議案～第4号議案まで原案通り承認されました。第5号議案の総会スローガン発表の件につきましては、議長の指名により、田邊拓人氏（青年部長）がスローガンを力強く宣誓しました。

また、本年度は役員の任期が満了となり、第6号議案として役員改選が上程されました。役員の選定について、例年の通り指名推選の方法にて、議場に諮ったところ満場一致で承認されました。理事の定員は、備前地区8名、備中地区8名、美作地区4名、青年部1名とし、監事は各地区から1名とし、選考委員により選考されました各地区の理事、監事を発表し、議場に諮ったところ、満場一致で承認されました。

選定された新役員は次の通りです。

理事：八田 高志、寺尾 邦弘、石原 恵一、平井 作実、畑 英男、牧 一穂、八田 達憲、
益本 麻衣、山田 英基、桑折 祐子、別府 洋吾、岡井 智之、妹尾 芳訓 森岡 輝行、
白神 和政、西本 光治、牧 生夫、國米 一朗、近藤 益巳、河野 文雄、田邊 拓人
監事：中山 稔之、中島 政也、田村 俊夫（敬称省略、順不同）

また、同日の理事会において新理事長に就任された牧 生夫氏が、『難しい局面の中で組合がなすべきことを見極め前進して行く所存、組合員各位の協力を心よりお願い申し上げます。』との挨拶がありました。

そして、長きにわたり理事長をされた乗藤 慎吾氏が、『組合員皆様のご厚意、ご協力のお蔭をもちまして様々な難局を乗り越えることができたことへの感謝を述べられるとともに、この想いを後身にお譲りし、新理事長を中心に団結を強めていただきたい』と、組合のさらなる発展の願いを込めた挨拶をなされました。

（牧 一穂）

岡山県環境整備事業協同組合青年部 第47回通常総会

令和4年5月13日 組合研修室

第47回岡山県環境整備事業協同組合青年部通常総会が、組合研修室にて開催されました。岡山県での新規感染者数が中々終息を見せない中、青年部員が一堂に会してのリアル開催を目指していましたが、昨年同様 web 会議システムと併用開催となり、本来ならば理事長をお呼びして挨拶を頂戴する予定でしたが、不本意ながら理事長をお呼びせず規模を縮小しての開催となりました。

司会を甲田副部長が務め、開会に先立ち藤村部長から挨拶がありました。松本副部長が議長に選任され議案の審議に入り、藤村部長より令和3年度事業報告及び令和3年度収支決算が一括して報告があり、中島監事より監査報告なされ承認されました。

本年度は任期満了に伴う役員改選があり、藤村部長より案が出され、新部長に田邊部長が選任され承認されました。

田邊新部長より令和4年度事業計画及び収支予算が発表され、全会一致で承認されました。

また、新入部員の紹介があり、中山雅統さんが入会された報告がありました。

続いて畑 裕貴さんが総会スローガンを読み上げ、最後に吉岡副部長より閉会のあいさつがなされ、議案審議も終了し、第47回岡山県環境整備事業協同組合青年部通常総会が閉会しました。（藤村 正太郎）

第58回中ブロ総会、第19回中ブロ青年部総会

中ブロ総会 令和4年6月30日 ANA クラウンプラザホテル岡山
中ブロ青年部総会 令和4年6月22日 岡山県組合事務所

◎第58回全国環境連中国地区協議会通常総会が6月30日にANA クラウンプラザホテル岡山にて開催されました。また今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から各県代表者（理事長）による対面式開催にて行われました。事務局より開会を宣言した後、乗藤会長が挨拶を行いました。組合員数156名の内、本人出席4名、委任状出席141名の計145名の出席で定数を満たされ総会は有効に成立しました。議長には島根県組合の小倉剛氏が選任されすべての議案は議場に諮ったところ満場異議なく承認されました。

その中で任期満了に伴う役員改選の件について、その後8月2日に行われた理事会にて会長を鳥取県大川理事長、会長代行を山口県山田理事長、副会長を岡山県牧理事長、島根県米山理事長が選任されました。

総会は次回の当番県の鳥取県、大川理事長の挨拶の後、閉会されました。

またこの度(有)シーエフ三圭の三原昌守氏を始め18名の方が優良役員、従業員として受賞されました。

◎第19回全国環境連中国地区協議会青年部通常総会が6月22日に岡山県組合事務所を会場に各県代表の本人出席とオンラインによるハイブリッド形式により開催されました。慎重審議の上、すべての議案は無事承認されました。この中で任期満了に伴い鳥取県高岩氏にかわり岡山県田邊氏が会長として選任されました。

(松本 宏行)

浄化槽管理士研修会

令和4年7月28日 岡山市民会館

浄化槽管理士研修会は、浄化槽法の改正に伴い「浄化槽保守点検業者の登録等に関する条例」の一部が改正され、浄化槽保守点検業者の責務として登録の有効期限内に1回以上、営業所に置く浄化槽管理士に対し、県等が定める研修会を受講させる必要があり、年々進化・小型化が進む浄化槽、そして浄化槽を取り巻く環境の変化に管理士が対応するため開催された。

研修会は主催者・行政機関あいさつで始まり、公益財団法人日本環境整備教育センターの櫛田講師により全国共通の研修課目として

- I 浄化槽行政の動向
- II 浄化槽の構造と機能
- III 浄化槽の保守点検と清掃

続いて IV 地域における浄化槽情報 と題して

- ① 岡山県内の浄化槽関係行政情報
- ② 岡山県内における浄化槽法定検査
- ③ 岡山県内における浄化槽設置手続き

①～③の内容で各講師を招き、岡山県の浄化槽に関する現状に対しての研修を受け、修了証書を交付され、浄化槽管理士研修会は無事終了した。

(縄手 國雄)



- 令和4年9月14日 全国環境連第3回理事会（ホテルメトロポリタン長野）
- 9月22日 組合第3回常任会・理事会（組合研修室）
- 10月3日 第35回全国浄化槽大会（東京都）
- 10月14日 第18回全国大会（ホテルメトロポリタン長野）
- 10月18日～19日 第36回全国浄化槽技術研究集会（松山市）
- 11月16日 全国環境連第4回理事会（未定）
- 12月6日 組合第4回常任会・理事会（組合研修室）
- 令和5年1月18日 全国環境連第5回理事会・新春懇談会（東京）
- 1月27日 組合新年会・第5回常任会・理事会（岡山市）
- 3月15日 全国環境連第6回理事会（未定）
- 3月28日 組合第6回常任会・理事会（組合研修室）



國米 智洋

水は私たちの生活に欠かせないものです。しかし、現代においては、文化的な生活を営むためにも多くの水を必要とし、その量は生きていく最低限の水量をはるかに上回ります。日本は美しい自然の中で豊かな水資源をもち、水道をひねれば飲める水をもつ国ではありますが、近年は毎年のように日本各地で豪雨災害や地震など、いづどこで災害が起きてもおかしくない状況となっています。その中で日々の水を水道水に頼っている日本では災害で水道が使えなくなった際には不自由な生活を強いられることとなります。

その中で浄化槽はその場で汚水を処理できるなどの柔軟な利用法があることから、応急仮設住宅などに設置され、災害時のライフラインとして活用されています。

また、国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発」を目指すSDGsでもターゲット6番に「安全な水とトイレを世界中に」としており、水問題は世界的に注目されている問題であり、浄化槽が問題の解決に寄与できる部分は大いにあります。

その場その場で効率よく汚水を処理できる浄化槽の役割は日本だけでなく、世界各地での需要が期待できます。浄化槽の維持・普及を推進していくことを通じて、きれいな水で豊かなくらしができる社会に貢献していきたいと思えます。

活 動 報 告

R4. 3.16 全国環境連第6回理事会（リモート会議）	6. 6～6.12 浄化槽管理士講習会（岡山市）
3.22 全国環境連中国地区協議会第6回理事会（リモート会議）	7. 4～7. 9 //
3.29 組合第6回常任会・理事会（組合研修室）	6.17 全国環境連通常総会・臨時理事会（東京都）
5. 2 令和3年度組合会計監査（組合事務所）	6.25 第58回全国環境連中国地区協議会総会（4代表者による対面式会議）
5. 9 組合第1回常任会・理事会（組合研修室）	6.29 (一社)岡山県浄化槽団体協議会総会（岡山市）
5.19 全国環境連第1回理事会（リモート会議）	7.27 全国環境連第2回理事会（対面式及びリモート会議）
5.25 第65回組合通常総会（岡山市）	7.28 浄化槽管理士研修会（岡山市）
5.26 全国環境連中国地区協議会監査（書面監査）	8. 2 全国環境連中国地区協議会第3回理事会（対面式及びリモート会議）
6. 1 全国環境連中国地区協議会第1回理事会（リモート会議）	
6.15 (一社)岡山県浄化槽団体協議理事会（岡山市）	

編集後記

今年度の通常総会で選任された役員の新体制がスタートし、数カ月が経過しました。新メンバーは、少しずつそれぞれの立場を理解しながら、組合運営に取り組んでいます。

この交代は、組織の中では重要なファクターとして存在し、又、他団体でも交代が進みつつあり、時には様々な変化を感じる場面も見られます。創業者からの伝統を継承しながら、融合することにより、発展につながっていききたいものです。

反面、新型コロナウイルス感染症は、長期間にわたり社会を非日常化し、あらゆる分野に強く影響を与えてきました。もちろん組合活動も例外なく制限させられたことは前体制から変わっていません。

しかしながら、このことは、非日常が日常化するという変化を社会にもたらすきっかけを作りました。これは、全くのイコールではありませんが、我々の活動にも大きな変化をもたらしました。方向を間違えないように、与えられた役割をそれぞれの的確な判断と行動により形作っていかなくてはなりません。

今こそ、未来を見据えた活動が必要になってきていると感じます。

BIFU

Vol.58

発行日 令和4年9月13日
 発行 岡山県環境整備事業協同組合
 編集 機関紙担当理事 妹尾 芳訓
 住所 岡山市南区山田291-2
 tel/fax 086-282-6455/086-282-6685
 E-mail okakan01@poem.ocn.ne.jp
 印刷 (有)エーピープランニング